

所報

ICHINOMIYA CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRY

SHOHOU

2017
4
April

Vol.663

毎月1回10日発行

浅井山公園



大江川緑道



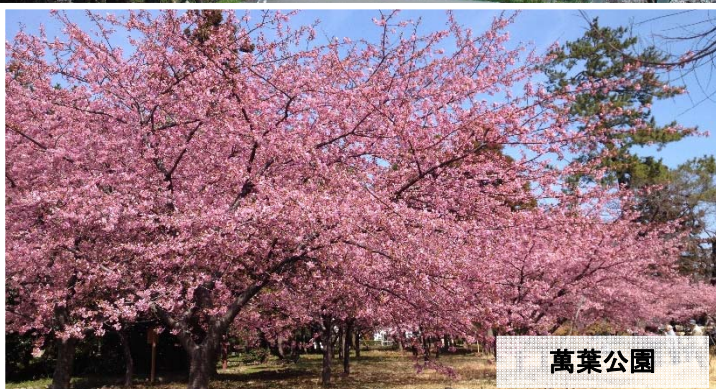
尾西緑道



木曽川堤



青木川河畔



萬葉公園

2 平成29年度事業計画・収支予算を決定

3 名岐道路整備促進期成協議会が発足

3,4 委員会報告

13 「絶品ガイドブック」を発行

 今月の写真

一宮 産業観光めぐり
季節観光 春・桜



平成 29 年度事業計画と収支予算を決定！ ～常議員会・臨時議員総会を開催～

一宮商工会議所は、3 月 27 日、常議員会ならびに臨時議員総会を開催し、平成 29 年度の事業計画及び収支予算等を決定した。概要は以下のとおり

本 年 度 の 重 点 事 業

1 中小企業の支援・育成

(1) 人材の確保

■本所が西尾張地区の会議所と共同開催した「合同企業説明会」の経験を踏まえ、説明会の運営に一層の改善を加えながら人材の確保に努める。

また、地元で学んだ学生が地元で就職できるよう、学生と地元企業との出会いの機会を提供する。

(2) 雇用の創出

■地域経済活性化の鍵である雇用の創出を念頭に、i ビル内に設置する「ビジネス支援センター」を中心とした各種支援により創業に繋がるよう支援を継続する。

(3) 事業承継支援

■全国的に経営者の高齢化という課題を抱える中小・小規模事業者の多くは、事業承継の時期を迎えているが、廃業に至る事例も少なくない。

廃業は最終段階にならないと表面化しないと言われており、難しい判断を迫られる事業者に対し、出来る限り事業承継を進められるよう支援に努める。

(4) 個店経営の活性化

■街ゼミの目的である「販路拡大」と「消費の喚起」を踏まえ、個店のファン増加による商店街活性化、延いては地域の発展という好循環を生み出すよう支援を継続する。

■昨年 10 周年を迎えた「一宮モーニング」については、事業主体である地域密着型店舗が、引き続き存続・発展できるよう、経営力強化に繋がる事業を展開する。

2 新しい産業の誘致・育成

(1) 次世代を担う産業の誘致／交通インフラの整備

■優れた立地環境の当地域で、「次世代を担う付加価値の高い産業を立地させる」ため、次世代産業の方向性を提案し、その誘致などに市と連携して取り組む。

■平成 39 年に予定されるリニア中央新幹線の開業効果を最大限活用し、産業誘致・産業育成を進めるためにも、市と連携しながら「名岐道路」などのインフラ整備を国・県などの関係機関に働きかけてゆく。

(2) 農商工連携の推進／食ブランド事業の広域展開

■平成 27 年 6 月に開始した「農商工ビジネス研究会」が連携するプロジェクトが始動した。一宮のこだわりの食材を使用し、市内事業者の連携のもとに行われる新商品開発を引き続き支援する。

■8 年目を迎える「いちのみや食ブランド推進事業」においては、認定ブランド品を国内のマーケットに広く普及させるため、共同販売拠点(アンテナショップ)などへの参加による販路開拓支援を推進する。

3 都市のブランディングと産業観光

■「一宮モーニング」「いちのみや食ブランド」などの地域資源を活用して、都市のブランディングを進めることで、当市の知名度アップと魅力度アップに努める。

■都市の魅力度(ブランド力)を高める素材として「観光資源」が、近年注目を浴びている。「観光資源の充実」という視点から、産業観光プロモーション事業に多角的に取り組んでゆく。その上で、地域の魅力度を高めることで、「この街に住んでみたい人」、「この街で創業したい人」の増加に努めてゆく。

■ 議員代表者変更 ■

(※敬称略)

事業所名	旧	新
(株)JTB 中部一宮支店	木崎 真樹	木下 和也
(株)中日総合サービス 尾張支社	加藤 晃嗣	後藤 敏文

■ 常議員の選任 ■

(※敬称略)

事業所名	氏 名
(株)JTB 中部一宮支店	木下 和也

一宮商工会議所平成 29 年度 収支予算一覧

(単位：円)

	本年度予算額	前年度予算額	差 異	増加率(%)
一般会計	125,891,000	120,151,000	5,740,000	4.8
中小企業相談所	97,610,000	97,920,000	△310,000	△0.3
庁舎管理	83,540,000	79,360,000	4,180,000	5.3
特定商工業者	4,970,000	4,686,000	284,000	6.1
共済事業	17,021,000	16,362,000	659,000	4.0
特定退職金共済事業	351,052,000	357,010,000	△5,958,000	△1.7

「名岐道路整備促進期成協議会」設立総会を開催 会長に豊島会頭を選出



△会長に選出された豊島会頭

地域高規格道路「名岐道路」の整備促進を求める地元経済界の組織「名岐道路整備促進期成協議会」の設立総会が、3月23日、本所小ホールで開かれ、会長に本所の豊島会頭を選出し、正式発足した。

設立総会には、本所、岐阜、各務原の各商工会議所会頭と、尾西、木曽川、岐南町、笠松町、柳津町の各商工会会長が出席（代理含む）。協議会会長に本所の豊島半七会頭、副会長に村瀬幸雄岐阜商工会議所会頭を選出したほか、規約制定、平成29年度事業計画（案）、決議文（案）採択の各議案を、それぞれ全会一致で承認した。

決議文では、名岐道路を「名古屋圏域と岐阜圏域を繋ぐ骨格道路」と位置づけ、社会経済活動の発展や観光振興を通じた地方創生への寄与、防災対策の代替性・多様性確保などの効果を指摘し、「リニア中央新幹線の開業を視野に入れた整備が不可欠」として、早期事業化や関係予算の確保を強く要望するとした。

協議会は平成29年度以降、先に設立された行政側の組織「名岐道路整備促進期成同盟会」（会長：中野正康一宮市長）と連携を図りながら、関係機関に対する要望や、整備促進に必要な調査、研究等を行っていく。

設立総会では、来賓として出席された中野正康一宮市長、細江茂光岐阜市長、国土交通省 中部地方整備局 愛知国道事務所の宮崎哲事務所長より、それぞれご祝辞をいただいた。

名岐道路は、名古屋高速16号一宮線「一宮出入口」と、一般国道21号など3国道の交差する岐阜県岐南町の「岐南IC」間の、約10キロを結ぶ地域高規格道路で、現在、整備されていない状況にある。

委員会報告

組織運営委員会を開催

3月21日、本所402会議室において組織運営委員会を開催し、正副会頭を始め常設委員会の委員長ら10名が出席した。

当日は、本年2～3月に開催された各委員会の活動報告ならびに平成29年度の委員会活動方針について委員長から説明があった。

議論の中では、「企業誘致」、「行政との連携」、「人材確保」、「働き方改革」など、各委員会の主要テーマや昨今の時事問題について活発な意見交換が交わされた。

その後、事務局から第2期アクションプランの事業評価（案）、平成29年度事業計画（案）並びに収支予算（案）の骨子について説明を行い閉会した。



△挨拶をする豊島会頭

中小企業委員会（委員長：藤原 一弘）



開催日
2月23日（木）
出席者
34名

議題

- (1) 講演「いちのみや食ブランドの概要について」
講師 三井食品工業(株) 代表取締役 岩田孝逸氏
- (2) 委員会の所管事業の報告及び平成29年度事業計画について
- (3) 平成29年度中小企業委員会の議題内容について

議題(1)については、岩田氏より食ブランド推進協議会発足の経緯から今年度の事業、今後の展開などについて話があった。

議題(2)については、事務局より所管事業の経過報告と29年度の事業計画について説明した。

議題(3)については、原則として常議員会に合わせて委員会を開催、次回委員会は7月24日(月)の11時より開催することとした。以後は企業視察や本所の施策利用者の卓話などを行うこととし、委員の承認を得た。

最後に豊島会頭より会員交流会、まちづくり講演会についての案内があった。

税制・人材委員会（委員長：矢野 尚彦）



開催日 3月6日(月)
出席者 22名

議題

- (1) 講演「平成29年度税制改正の概要について」
- (2) 「平成28年度所管事業について（報告）」

議題(1)では、「平成29年度税制改正の概要について」をテーマに、日本商工会議所 産業政策第一

部 主任調査役 北村 信夫氏より講演が行われ、中小・中堅企業の設備投資を促進する税制、円滑な事業承継に資する税制措置、賃上げを実施した企業を支援する税制について説明があった。

議題(2)では、「平成28年度所管事業について」事務局より報告があった。矢野委員長より、中小企業の雇用環境は厳しい状況が続いているため、人材確保・育成事業の利用推奨ならびに市内中小企業への就職率向上に繋がる取組を積極的に実施してほしい旨意見があった。

観光委員会（委員長：則竹 伸也）



開催日 3月8日(水)
出席者 27名

議題

- (1) 「観光委員会所管事業報告について」
- ①観光委員会の主な審議事項と組織図について
- ②一宮モーニングについて

- ③一宮コスチュームタウン構想事業について
- ④だいたいフェスタ大集合について
- ⑤イルミネーションについて
- ⑥産業観光について

審議事項と組織図について説明を行い、当委員会の所管事業についての共通認識を確認した。

その後、②～⑥の各事業について報告が行われた。また、各事業について、次年度より新体制となることから、代表者の紹介があった。

情報委員会（委員長：青木 俊憲）



開催日 3月8日(水)
出席者 23名

議題

- (1) 講話：「改正個人情報保護法の概要と中小企業の実務への影響について」
 - (2) 平成28年度の情報委員会所管事業の経過報告及び平成29年度事業について
 - (3) その他
- 議題(1)では、サンライズ法律事務所 所長 弁

護士 矢田 政弘氏より講話を頂き、平成29年春頃より適用除外とされている小規模事業者も個人情報保護法が適用される説明があった。

議題(2)では、平成28年度の所管事業の経過と平成29年度事業について事務局より報告があった。

(3)その他では、見学視察会を行うことが説明され、出席者から日程と候補地が提案され、NTT 西日本 名古屋・栄 IT データセンターが候補地と決まった。続いて、今年度取り組む課題として、「AIにより変わる中小企業経営について」講話を聴くことが決まった。

産業振興委員会（委員長：西岡 隆夫）



開催日 3月9日(木)
出席者 29名

議題

- (1) 講演「名岐道路の整備に向けて」
- (2) 「今後の委員会活動に関するアンケート調査」結果報告

- (3) 平成28年度 第1次環境行動計画 実施報告
- (4) 平成28年度 所管事業報告

議題(1)では、一宮市役所まちづくり部都市計画課の松川貴広課長より、名岐道路整備によるストック効果や要望活動等についての説明があり、要望活動では地元経済界と連携することが強調された。

議題(2)では、委員会に先立ち実施したアンケートの結果（重点的に行うべき所管事業、行政・会議所等の産業支援策等）、重点的に行うべき事業として「企業立地」が最多となった等の報告があった。

まちづくり委員会（委員長：宮田 智司）

開催日 3月10日(金)
出席者 28名
議題

- (1) 講話「参加店から見たまちゼミについて」
（資）安藤商店 代表社員 安藤 元二 氏
- (2) 所管事業の経過報告及び平成29年度事業計画について
- (3) その他

議題(1)では、事務局よりまちゼミについての報告と受講者アンケート結果について説明があった後、安藤氏より、店内で開催した「堅い鯉節をふわふわに削るコツ」のゼミの様子やお客様の反応、伝える難しさについて講話があった。委員からは、織維関係のゼミ開催を希望する意見があった。

議題(2)では、事務局より報告があり、各委員よりご意見をいただいた。

女性会だより

恋活パーティーを開催



△会場の様子

女性会（会長：猪子千早）は、2月25日、今回2回目となる「138 いい de 愛♥恋活パーティー」を本所大ホールにて開催した。

当日は、男女約60名が参加し、自己紹介、個別トーク、軽食とフリートークを楽しんだ後、告白タイムにおいてめでたく8組のカップルが成立し、無事成功裏に終了した。

女性会役員と本所役員・幹部との意見交換会を開催

女性会（会長：猪子千早）は、3月7日、本所会議室にて、本所役員・幹部との意見交換会を開催し、女性会役員と豊島会頭を始め本所幹部の合計17名が出席した。

この会議は、相互の事業報告等と意見交換を行い、連携強化を図ることを目的に年2回開催している。当日は、魅力ある女性会としての活動と婚活イベントを振り返り活発な意見が交わされた。



△意見交換会の様子

会員懇親会を開催

女性会（会長：猪子千早）は、3月7日、チャペルビュッフェエコーネにて「会員懇親会」を開催した。

当日は、中日新聞一宮総局 総局長 栗田秀之氏をお招きし、「メディアに取り上げてもらうために」と題し卓話をいただいた。その後、女性会の平成28年度の活動報告を行い、会員相互の親睦を深めた。当日は25名が参加するなど盛況で、有意義な会となった。



青年部だより

本所役員・幹部との意見交換会を開催

青年部（会長：飯田宣郎）は3月6日、本所会議室にて「本所役員・幹部と青年部との意見交換会」を開催し、豊島会頭を始め本所役員・幹部と青年部役員合計20名が出席した。

本会は、相互の事業報告等と意見交換を行い、お互いの連携強化を図ることを目的に開催している。

当日は最初に、本所来年度重点事業と青年部の事業経過報告及び来年度事業計画の報告が行われた。その後、青年部の今後の事業展開や一宮市を取り巻く課題や展望等について活発な議論が交わされた。



△会議の様子

3月例会を開催 ～交流会及び思ひ出を語る会を開催～

青年部（会長：飯田宣郎）は3月9日、本年度最後の例会である、恒例の3月交流例会を本所大ホールで開催した。

昨年に引き続き、女性会に参加を呼びかけ、本所職員も含め総勢69名が参加し、相互の交流を深めた。

交流会終了後には、卒業生を送る「思ひ出を語る会」を初開催し、今年度卒業する諸先輩方より、今後の青年部活動への期待や激励を受け、今後の青年部活動の活性化について考える良い機会となった。



△思ひ出を語る会の様子

「大志、向山地区」・「丹陽地区」 「会員の集い」を開催



△大志・向山地区の様子

△丹陽地区の様子

本所は、2月28日、本所大ホールにおいて大志・向山地区会員を対象に、また3月24日には、アイプラザ一宮において丹陽地区会員を対象とした「会員の集い」を開催した。

これは、地区会員の皆様に本所の施策・事業を広くご紹介することで、会議所への理解を深めていただき、会議所サービスを更に活用いただくことを目的に開催したもの。

当日は、豊島会頭の挨拶の後、本所ビジネス支援センターの森マネージャー（中小企業診断士）による会議所施策の活用方法、並びに中神専務理事による会員サービス事業や地域振興事業について説明を行った。その後の昼食懇談会では、会議所施策についての意見交換や地区の会員同士の交流も活発に行われ、和やかな雰囲気の中閉会した。

「会員の集い」は今後、他地区においても開催を予定している。

会員同士が交流と情報交換を行う 第7回ビジネス会員交流会を開催



会員事業所同士の交流と情報交換を目的とした「ビジネス会員交流会」を3月13日、当所で開催し31社から44名が参加した。

第1部は行列の出来る相談所として全国からその取組が注目されている岡崎ビジネスサポートセンター（OKa-Biz）の秋元祥治センター長に、売れる商品・サービスの作り方についてご講演いただいた。続く第2部では参加企業による自社PRと交流会が行われ、参加者同士が積極的に名刺交換や意見交換を図るなど大いに盛り上がった。

会員交流会は年2回開催。次回は9月頃の開催を予定している。

コスチュームタウン推進委員会を開催



△挨拶をする豊島委員長

コスチュームタウン推進委員会（委員長：豊島半七会頭）を、3月10日、本所にて開催し、平成28年度事業報告・決算見込案及び、平成29年度一宮七夕まつりコスプレパレードについて協議が行われた。

事業報告では、平成28年度のコスプレパレードなどの事業が盛況であったことが報告された。

平成29年度一宮七夕まつりコスプレパレードについては、7月30日（日）に開催。声優をゲストとして招聘し、「繊維の街・いちのみや」のPRを入れた企画・運営を行っていくという方向性が採択された。

～新産業創出研究会 第5回例会～ 「IoT」をテーマに2者から講演



△新産業創出研究会の様子

新産業創出研究会（所管：産業振興委員会）の第5回例会を、3月14日、本所にて開催し、24名が参加した。

当日は、「IoT」をテーマに、経済産業省 中部経済産業局 次世代産業課の伊野卓也統括係長と、i Smart Technologies（株）の黒川龍二執行役員より講演をいただいた。特に黒川氏の、「町工場でも成果の出せるIoT！～昭和の機械も接続～」と題された講演では、自社の生産ライン改善のためモタリングシステムを構築し、設備投資の圧縮や生産性向上を実現した経緯について詳細な説明がなされ、参加者は熱心に聞き入っていた。

【ビジネス支援センター】

いちのみやの企業のチカラ！

一宮商工会議所 中小企業相談所

TEL:85-7032 FAX:85-7033

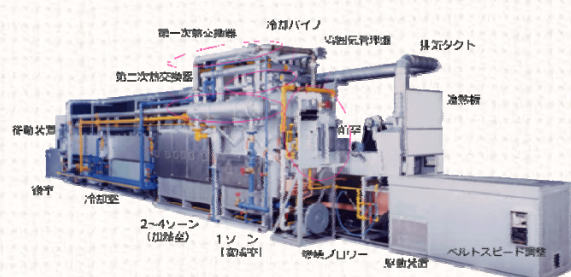
http://www.ichinomiya-cci.or.jp

本所会員事業所である瑞芳産業株式会社が「商品の新たな生産又は販売の方式の導入」をテーマに新商品の開発又は生産による経営革新計画を取得しました！

【経営革新申請の動機】

本所の会員事業所である「瑞芳産業株式会社」は鉄の銅ろう付、ステンレスのニッケルろう付をメインとした熱処理の受託加工を行っている事業所である。「ろう付」とは、金属の融点の違いを利用し、表面に加工を施す技術であり、最近では自動車のダウンサイズエンジン車用部品にも応用されている。走行の安全性を確保する「保安特性」を持つ部品の加工が多く、顧客から非常に厳しい品質管理体制を求められており、またコスト削減も急務である。複雑な形状にミリ単位の精度が要求される中、ロボット技術やIoT技術を生かし、オートメーション化を行うために、今回経営革新計画の取得を行なった。

連続式無酸化ろう付炉



△ろう付炉の概要とろう付前後の部品

【オートメーション化の概要】

瑞芳産業株式会社では現在、3つのラインにてろう付加工を行っている。各ライン間の製品運搬は手作業で行なっており、また1次検査としての目視検査、数量確認は検査員に委ねられていることから標準化できていないという課題があった。そこで、検査能力の向上、省人化、材料搬入スピードのアップ、トレーサビリティの向上と生産ラインの管理体制を構築することを目的に、ロボットやカメラを設置。IoT技術も活用し、データを蓄積しながら、不良品の発生の原因を探ることもできるようにする。

品質管理システムの平準化、合理化を達成し、ISOの取得することで、より高い品質管理基準を要求する顧客と直接取引することができ、売上向上に寄与することになる。

炉の温度変化や材料搬入スピード等をセンサー管理し、また仕上品のカメラチェックを行うなど各所において蓄積されるデータを活用し、仕上品の不良状態の関連性を分析、改善につなげていく。このことは、まさにIoT技術を活用した生産管理を実現することとなる。



△生産管理システムの概要

生産管理システムの構築とロボットの設計等については、市内の工作機械設計製作を手がける事業所と連携している。このプロジェクトの実現は両者の生産管理システムの能力を向上させるだけでなく、シ너지効果を生み、一宮市がIoT、ロボット設計について高い技術力を持つこととなり、その結果、市内外にアピールする絶好の機会となる。3カ年計画でオートメーション化を実現する計画。

【今後の展開】

今後ますます自動車の技術は向上し、そこに使われる部品は多岐に渡る。そのため、品質や精度の向上はますます要求され、会社の大小に関わらずその品質向上と平準化、またその生産管理は必要なこととなる。瑞芳産業株式会社は、常に新しい技術やシステムを模索し導入することで、業界での競争力強化につなげていきリーディングカンパニーとしての位置づけを確立していく。

今後は、本プロジェクトで省人化した人員を開発の分野に回し、水素を活用したろう付炉の稼働を本格化させていく。本所は、今回取得した経営革新計画に沿って事業の成長を伴走支援していく。

【会社概要】

瑞芳産業株式会社 内容：表面加工
TEL. 0586-45-4581 FAX. 0586-45-4583
HP. http://www.zuihoe.com/



〒491-0858 一宮市栄4丁目6番8号

一宮商工会議所 中小企業相談所

Tel.0586-72-4811 Fax.0586-72-4411

企業紹介

一宮の

株式会社いわいハウジング

～ 地域と地球とご家族を元気にする

木が香る省エネ健康住宅を提供 ～

「地域と地球とご家族を元気にする木が香る省エネ健康住宅を一宮に普及させたい。」と話するのは、八町通にある株式会社いわいハウジング代表取締役の岩田邦裕さん。ご家族が快適に暮らすための機能性や自然素材を活かす省エネ・健康住宅にこだわる同社の経営方針や今後の展開についてお話を伺った。

■地元を中心に認知度も高い

代表者の祖父、岩田伊三郎氏が「岩伊木材」を立ち上げ良質木材を販売したのがはじまりで、昭和40年代の木材輸入自由化をきっかけに建築士資格を取得して、建築工事業もはじめる。代表者は大学院卒業後、建設会社で研究開発に従事。在職中に一級建築士を取得すると設計事務所として同社を設立した。以降は木造注文住宅の設計施工、耐震改修、断熱改修、木材商の会社として現在に至る。

創業以来、岐阜街道沿いで長年営業している



▲ 代表者: 岩田 邦裕氏

こともあり地元を中心に認知度も高く、設計から施工管理まで一貫して行えるのが強み。木材商であるため資材の発注も販売店を通さず直接発注することで、質の良い住宅をお値打ちに提供している。

中小企業相談所は、国・県の中小企業施策の普及にあたり、特に小規模事業者の皆様の経営、金融、税務、経理、労務などに関する経営支援を行う機関です。10名の経営指導員が、それぞれ地区を巡回し、商工会議所の会員・非会員の区別なく相談に応じております。勿論、業務上知り得た秘密は厳守します。

■換気性能、断熱性能の優れた健康住宅を提供

エネルギー問題、地球温暖化問題の意識の高まりを受け、省エネルギー住宅の要望は高まっているが、同社では1999年(平成11年)から次世代省エネ基準(*1)を標準仕様と定めて住宅性能の向上に取り組まれている。同社が造る自然素材木造住宅は換気性能、断熱性能が大変優れており、換気性能に大きな影響を及ぼす隙間相当面積(C値※2)は、各社が「2」以下を目指している中、同社は既に「0.2」以下と非常に高い数値を実現している。

お客様の1棟を大切にするため月に1棟までの着工とし、現場管理を徹底するため施工範囲を会社から半径8キロ以内までとしている。創業者が建てた木造倉庫をリノベーションした地域のコミュニティスペース「住まいるギャラリー」を併設、毎月定期的に後悔しない家づくり講座「住まいる塾」、快適な暮らしのための「住まい無料相談会」等を行っている。また、近隣1万世帯に配布されている月刊誌にコラム「住まいる考」を10年以上にわたって連載するなど、同社の理念を積極的に配信している。

木材商として、年月を経て美しくなる木の魅力を伝えるとともに、今後も最先端の技術と知識の習得に励み、一宮の気候風土に適したお客様の笑顔を育む、省エネ・健康住宅を普及させたいと意気込む。



▲ 事業所に併設している# ▲ 施行例。換気性能、断熱性能に優れている。

(*1) 1999年(平成11年)3月に、建設省により改正された日本の断熱化基準の通称。

(*2) 換気性能を確認するために建物で測る気密性能値。数値が小さいほど、建物に隙間が少なく、暮らす人の健康にとって大切な換気量を確保できる。

代表者: 岩田 邦裕 設 立: 平成6年

住 所: 一宮市八町通2-4

T E L: (0586) 71-3800

業 種: 住宅設計施工、耐震・断熱改修、木材商

U R L: <http://www.iwaihousing.com/>

Interview

Q 一宮商工会議所との関わりについて教えてください。

A 青年部に所属し活動を行っていました。2007年(平成19年)には総務委員長として「能越ひだ濃尾物産フェア」を開催いたしました。昨年度はまちゼミに参加し、参加者に健康的な住まいづくりの秘訣を紹介しました。職員の支援により小規模事業者持続化補助金の交付も2回受けました。

キラリ輝け☆

会員事業所の新たな千カラ



本号では、新商品や新サービスを紹介する『合同報道発表会』※に参加した事業者を紹介いたします！本誌で掲載された事業所の新商品・新サービスについて「当社に導入したい」「ビジネスマッチングできないか」など、ご要望があれば掲載事業者との面談機会を設けますので本所（中小企業相談所）までご連絡ください！

※面談については双方の了解のもと本所にてお会い頂く事とします。また、反社会勢力の方はもちろん、宗教・先物取引などを目的とした面談は固くお断りいたします。

寄木シートを使った金封『寄木祝袋』と『寄木はがき』 好評発売中！



弊社は日本のギター産業誕生の地である名古屋で、ギターなど弦楽器の部品を製造販売しているメーカーで寄木細工や螺鈿細工のギター部品では日本で唯一のメーカーです。部品づくりで培ってきた技術を生かした一般向けの商品を発信する目的で昨年始めたのがオリジナルブランド『KIBIIT キビット』です。

『寄木祝袋』は寄木を装飾とした祝儀袋などの金封で、水引をあしらった大きなものからポチ袋まで、デザインも豊富です。『寄木はがき』は寄木と紙を貼り合わせた素材にイラストを印刷したはがきです。浮世絵、水彩画、和紙はり絵の3つのシリーズがあります。ノベルティー商品、オリジナル商品も承ります。

大和マーク株式会社 名古屋市中村区十王町 2-14

TEL. 052-461-3248 (キビット事業部)

<http://kibiit.com> (キビット事業部)

安心安全なメイドイン尾州のガーゼ 尾州ガーゼの販売



弊社ではベビー用を中心としたガーゼ商品を『安心安全』をモットーに企画、製造及び販売をしております。

昨今、色々な業種で原点回帰とも言えるべく日本製商品が見直されて来ております。特に赤ちゃんに直接触れる機会が多いガーゼ商品はそれが顕著に現れています。

今回、より『安心安全』な日本製をアピールするべく『尾州ガーゼ』という名前で販売できればと考えています。

■ガーゼの生地織りから完成品であるハンカチ等の袋入れまでの工程を尾州地区で行っている事を『尾州ガーゼ』とブランド化する事で製造工程や産地を明確化します。

■それにより一層、お客様に安心して手に取っていただけて、尚且つ他社の日本製との差別化をはかれます。

株式会社アルク

一宮市中町二丁目 12-23 TEL. 0586-85-9488

※【合同報道発表会】

会員事業所の情報発信をサポートするため、新商品や新サービスを報道関係者に向けて発表していただく機会を提供しています。(平成29年度は2回開催予定)



ここでは施策を実際にご利用した方にインタビューを実施し、「利用者の声」として掲載しております！

この記事をお読みにない興味が沸いたら、まずは会議所へご連絡をください！

～Voice～

BASE COFFE(一宮市印田通)代表者 加藤さんに聞きました！ 軽減税率対策補助金(レジ補助金)を活用して～ライフレジを導入しました～

Q. 制度をどのように知りましたか？制度活用のも機は何でしたか？

A. 制度はネットや商工会議所の会報誌等で知りました。消費税増税に伴う複数税率対応と、作業効率や機能性の向上を図りたいと思ったのが動機です。

Q. 本制度を活用してのメリットを教えてください

A. キャッシュドローアーとレシートプリンターが一体となった最新のレジを導入した事により、機能性や作業効率はもちろん、省スペース化も図れました。商品登録や税率設定等は、自身で行わないといけないため手間でしたが、消費者の属性や人気商品等の統計も取れるため、販売管理等にも役立ちます。

Q. 本制度を検討している方へメッセージをお願いします

A. 本制度はレジを導入し、必要書類を提出後、入金といった従来の補助金とは異なった流れです。今後は駆け込み需要も想定されるので、制度を利用するならお早めに！



◆制度概要◆

消費税軽減税率制度（複数税率）への対応が必要となる中小企業・小規模事業者が複数税率対応レジの導入や、受発注システムの改修などを行うにあたって、その経費の一部を補助する制度です。

補助率や補助上限額、申し込み締め切りなど申請に関する詳細は専用ホームページ（URL：<http://kzt-hojo.jp/>）をご参照ください。

繊維関連事業者必見！「地域資源活用制度」のご案内

地域資源活用は、中小企業等の新事業展開を応援する国の制度です。①事業計画（3年～5年）を策定し、法律に基づく認定を受ける事により、様々な②支援策を活用することが出来ます。

①地域資源活用による事業計画とは？

地域の強みとなりうる農林水産物、産地の技術、観光資源等の地域資源を活用して商品・サービスの開発、生産等を行い、需要の開拓を行うことを明文化した申請書のこと。

認定

本所の経営指導員と、(独)中小企業基盤整備機構の担当マネージャー等がバックアップします！

②支援策とは？

- ・人的支援（担当マネージャー等によるアドバイス支援、販路開拓のためのマッチング、課題解決のための専門家派遣等）
- ・「ふるさと名物応援事業補助金」（補助対象経費の3分の2補助）
- ・融資等

「ふるさと名物応援宣言」の内容に沿った案件を優先的に採択！

一宮市は「尾州の毛織物等」で応援宣言をしています！

参考：<http://www.city.ichinomiya.aichi.jp/jigyosha/jigyoshayuushi/1013348.html>

【問合せ・申込先】 一宮商工会議所 中小企業相談所 TEL：0586-72-4611 FAX：0586-72-4411
独立行政法人 中小企業基盤整備機構 中部本部 TEL：052-218-8558

～設備貸与制度の概要と説明会のご案内～

本制度ご利用の際は本所へご相談ください！

設備貸与制度とは

(公財) あいち産業振興機構が事業者に代わって設備を購入し、「割賦販売」又は「リース」する制度です。

	割 賦	リ ー ス								
対象事業者	従業員 50 人以下 ※従業員数によって一部要件があります。									
対 象 設 備	県内に設置する新品の機械・設備等で付加価値及び経常利益の向上が一定以上見込めるもの									
限 度 額	100 万円～1 億円									
連帯保証人	法人企業は原則、企業の代表者のみ連帯保証人としします。個人企業は原則、連帯保証人は不要です。									
担 保	原則担保不要。信用保証協会の保証も不要なので、金融機関の融資枠を残しておけます。									
利 率	(公財) あいち産業振興機構に直接申込みの場合 <table><tr><td>割 賦</td><td>1.7%～2.3%</td></tr><tr><td>リース(月額)</td><td>1.288%～2.951%</td></tr></table> ➡ <table><tr><td>割 賦</td><td>1.6%～2.2%</td></tr><tr><td>リース(月額)</td><td>1.287%～2.958%</td></tr></table> 本所から申込みの場合 割賦年利及び月額リース料率は、事業者の経営・財務状況に応じて異なります。 経営革新計画承認企業が設備を導入する場合は、利率が変更になる場合があります。		割 賦	1.7%～2.3%	リース(月額)	1.288%～2.951%	割 賦	1.6%～2.2%	リース(月額)	1.287%～2.958%
割 賦	1.7%～2.3%									
リース(月額)	1.288%～2.951%									
割 賦	1.6%～2.2%									
リース(月額)	1.287%～2.958%									
返済期間	5 年又は 7 年（元金返済は 1 年据置）	3～7 年								
当初費用	火災保険料のみ	不要								
申 込 先	一宮商工会議所 中小企業相談所 TEL：0586-72-4611 又は（公財）あいち産業振興機構 設備投資支援 G TEL：052-715-3067									

◆説明会開催日時◆

開催日	開催時間	開催場所
平成 29 年 4 月 14 日（金）	午後 2 時～	津島商工会議所 3 階研修室（津島市立込町 4-144）
平成 29 年 4 月 18 日（火）	午後 2 時～	東三河総合庁舎 301 会議室（豊橋市八町通 5-4）
平成 29 年 4 月 21 日（金）	午後 2 時～	西三河総合庁舎 501 会議室（岡崎市明大寺本町 1-4）

■問合せ先■

公益財団法人あいち産業振興機構 経営支援部 設備投資支援グループ

TEL：052-715-3067 FAX：052-563-1436

～2月23日（木）「経営発達支援推進協議会」開催報告～

担当副会頭：高岡 幸郎 出席者：10名

報告事項

- (1) 委員の変更について
- (2) 経営発達支援計画の概要について

協議事項

- (1) 平成 28 年度経営発達支援事業 事業報告について
一部委員の変更があったため委員の変更と経営発達支援計画の概要について事務局より報告を行う。

協議事項(1)について事務局より説明。経営発達支援事業として、①地域の経済動向調査

②経営状況の分析

- ③事業計画の策定
・実施支援 ④事業
計画策定後の実施
支援に関すること

⑤需要動向調査

⑥新たな需要の開拓に寄与する事業に取り組んだ。

当所では平成 27 年度から 32 年度までの 5 カ年の経営発達支援計画を作成している。



一宮モーニングプロジェクト だよ



一宮モーニング協議会を開催！

平成 29 年度 新規参加店募集を開始！併せて協賛広告の募集を開始



△協議会で挨拶する則竹会長

3 月 16 日、本所にて、「第 3 回一宮モーニング協議会」（会長：則竹伸也副会頭）を開催した。

当日は、最初に平成 28 年度事業報告並びに収支決算見込について協議を行った。事業報告では、毎年恒例となっている「一宮モーニング博覧会」や「朝学」講座が盛況であることがそれぞれ報告された。

次いで、平成 29 年度事業の方向性について協議が行われ、「参加店舗に寄り添い、業界支援に主眼を置いた事業を展開する」という方向性が採択されるとともに、平成 29 年度一宮モーニング協議会及び、一宮モーニング推進委員会の人事案が承認された。

また、本協議会では、平成 29 年度の「一宮モーニングプロジェクト」参加店を募集する。募集要項は右記の通り。

併せて、モーニングプロジェクトに対する協賛広告を募集する。募集要項等詳細は所報同封チラシを参照のこと。

問合せ・申込先は一宮モーニング協議会事務局まで。(TEL:0586-72-4611)



参加店募集要項

条件：一宮市内でモーニングサービスを実施していること。

【主な事業】

- ①一宮モーニングマップと一宮モーニング公式ホームページへの掲載
- ②一宮モーニングのぼり旗の提供（1 枚）
- ③スタンプラリーへの参加（参加必須）
- ④その他

【参加料】

10,000 円（但し、一宮商工会議所会員は無料
木曽川・尾西商工会会員は¥5,000）

【申込方法】

データシート兼申込書に必要事項を記入の上、FAX または郵送、メールにて申してください。申込書は公式 HP 上でダウンロード可。

【公式 HP】

<http://ichinomiya-morning.com/>

【申込締切日】

平成 29 年 4 月 28 日（金）まで（必着）

平成 28 年度の「朝学講座」が好評のうちに終講



△講義の様子

一宮モーニング協議会（会長：則竹伸也副会頭）は、2 月 6 日から 3 月 6 日の毎週月曜日、健康に関する講義をモーニングを食べながら受講する「朝学講座」を 5 回に渡り開催した。

3 月 6 日には、名古屋文理大学健康栄養学科教授、國友宏渉氏より「なぜ運動は身体によいのでしょうか-安静の害から学ぶ-」と題した、最終回の講義が行われた。この講義は、座学だけではなく、簡単な運動も交えたものとなっており、参加者は、楽しそうに受講していた。

朝学は平成 25 年度より開始された事業で、今年度で 4 回目の開催となった。

一宮のZeppinを召し上げ！ 飲食店“絶品”ガイドブックを発行！



3月30日、まちづくり委員会（委員長：宮田智司）は、一宮市の知られざる名店の一品や新しく仲間入りしたお洒落なカフェのメニューまで42店舗の“絶品”料理を紹介したガイドブックを発行し、報道関係者に対して記者発表を行った。

ガイドブックには名古屋文理大学の学生も参加し、取材の同行をはじめ撮影補助や編集にも携わったほか、市内大型小売店等にもご協力をいただいた。発行部数は3万部。A5サイズで、一宮商工会議所や一宮市観光案内所、市内の大型小売店やビジネスホテルなどで配布している。

【問合せ先】中小企業相談所（TEL. 0586-72-4611）

「いちのみやだいたいフェスタ大集合 for Halloween 2017」～今年度の概要を決定！～



△秋まつり実行委員会の様子

いちのみや秋まつり実行委員会（委員長：則竹伸也副会頭）は、3月17日、本所にて第4回実行委員会を開催した。

当日は、「一宮だいたいフェスタ大集合 for Halloween 2017」の開催について議論が交わされ、開催期間を10月1日（日）～29日（日）とし、今年も「138 ハロウィン～おりものパレード～」や「138 ハロウィン～トリックオアトリート～」等、盛り沢山の内容で実施することが決定された。

今後、だいたいフェスタ参加団体の催事名称、日時等の詳細が決定される。

藻谷浩介氏を迎え「まちづくり講演会」を開催



△まちづくり講演会の様子

3月27日、本所大ホールにて、本所、一宮市が取り組む「産業観光プロモーション事業」の一環

として、（株）日本総合研究所 主席研究員の藻谷浩介氏を講師に迎えた「まちづくり講演会」を開催し、中野一宮市長、豊島会頭をはじめとする130名が聴講した。冒頭、中野市長及び豊島会頭から挨拶が行われ、行政・民間が一体となり産業観光に取り組んでいく旨の紹介があった。

藻谷氏は講演で、地域観光は地域内経済循環拡大が目標であること等を、詳細な人口データに基づき話され、産業観光推進について多くの示唆をいただいた。

（愛知県信用保証協会）

環境行動計画 平成 28 年度取組状況について

本所では、平成 27 年 3 月に「第 1 次一宮商工会議所環境行動計画」（平成 26 年度～29 年度）を策定したことを踏まえ、取り組み状況について報告する。

会員企業への取組支援については、CO2 チェックシートの利用促進、エコアクション 21 の認証取得支援、J-クレジット制度など、環境に配慮した経営に役立つ情報を所報、ホームページ、メールマガジンなど各種情報媒体にて発信した。

省エネ補助金セミナーを平成 29 年 1 月 16 日に開催し、省エネ補助金の概要や補助金に係る申請実務について講演を行った。

また、本所自らが「環境推進チーム」を編成し、CO2 チェックシートの活用や館内不要時消灯の徹底（節電）、ゴミの減量化、再資源化等をエコ活動に職員一同で取り組むほか、新ビル移転に伴う省エネ機器導入により、電力使用量が昨年度より大幅に削減された。

環境行動計画に関するお問い合わせは企画事業部まで(TEL 72-4611)。

「珠算技能優秀者表彰式」を 一宮市民会館大ホールにて開催



△表彰式の様子

本所と日本珠算連盟一宮支部との共催による「第 65 回珠算技能優秀者表彰式」が 3 月 19 日、一宮市民会館大ホールにて開催された。

多数の保護者らが参列する中、日頃の鍛錬の成果として、珠算や暗算の新たな段位獲得者や技能優秀者の児童・生徒ら総勢 92 名が表彰された。

表彰式では、本所森副会頭からの主催者あいさつの後、表彰状と記念品の授与が行われ、来賓として中野一宮市長らよりご祝辞を頂いた。最後に、受賞者を代表して榮塾の奥村友香さんの心のこもった謝辞にて表彰式は終了した。

「総合利用ガイドブック 2017」を発刊



本所ではこのたび、事業内容を分かりやすく紹介した、「総合利用ガイドブック 2017」を発刊した。

平成 28 年 3 月に 4,000 部発刊したガイドブックをリニューアルし、会員の皆様への配布だけでなく、新規入会時の勧誘ツールとしても利用できるよう、発行部数を 5,000 部とした。

内容では、平成 27 年度版に引き続き、本所が取り組む各事業を紹介したほか、「ネットを活用した経営相談」「会員の集い」「いちみんなび」「中小企業共済」などの新規事業も総合的に紹介している。また、重点的な取り組みを一覧できる早見表も新たに掲載した。

本所報にも同封したガイドブックを手にとってもらい、本所の事業内容や各種施策を更にご理解いただいた上で、会議所をよりご活用いただきたい。

一宮商工会議所 事務局人事異動について

本所は 4 月 1 日付で人事異動を行った。事務局人事は以下のとおり（カッコ内は旧役職）。

▽事務局次長兼総務部長兼総務部課長

伊藤 俊夫（事務局次長兼総務部長）

▽中小企業相談所長

菱川 宗弘（総務部課長）

▽企画事業部課長

青柳 勝（企画事業部係長）

▽総務部 桜井 俊和（ビジネス支援センター）

▽ビジネス支援センター

宇野 壮一郎（総務部）

総勢 573 名が試験に挑戦！

～日商簿記検定試験を実施～



△簿記検定試験の様子

2月26日、修文大学、一宮商業高校、木曽川高校にて、第145回日商簿記検定試験を実施した。当日は、2級267名、3級306名のあわせて573名が試験に挑戦した。

簿記は、経理事務に必要な会計知識だけでなく、財務諸表を読む力や、基礎的な経営管理や分析力が身につく技能。経理担当者のみならず、全ての従業員に有用なビジネススキルであり、コスト感覚が身につくなど経営の視点を養うことができる資格として、注目度も高い。

今回の簿記検定試験は、6月11日（日）に実施する予定。

～一宮警察署からのお知らせ～

店舗・事務所を狙う侵入盗被害が多発！

愛知県内では、深夜、店舗や事務所を狙った侵入盗被害が本年1月末現在において92件発生しており、前年と比較すると、43件（87.8%）の増加となっています。

これら事件の特徴は、深夜、複数の犯人が車で乗り付けて、窓ガラス、出入口ドア、勝手口を破壊して侵入し、金庫、机の引出し等を物色したり持ち去ろうとするものです。

この機会に、下記のポイントを参考に危険個所の点検と対策に努め、被害の未然防止をお願いします。

◆犯人に犯行を断念させるためのポイント

- ・ 店舗・事務所内に現金を保管しない
- ・ 現金を金庫に保管する場合は、持ち出されないための固定や破壊されない工夫
- ・ 機械警備の導入と窓・出入口等開口部の強化

※できることから対策をお願いします！

※不審者・不審車両を目撃したときはすぐに110番通報してください。

今月の表紙「一宮 産業観光めぐり」

季節観光 春・桜

春、市内各所で行われる「一宮桜まつり」。今年は3月25日（土）から4月10日（月）までの開催が予定されています。（期間については、桜の開花状況により変更となる場合があります。）ここでは6カ所をピックアップしました。

大江川緑道

見ごろ：3月下旬～4月上旬

交通：一宮駅から徒歩15分

河畔のソメイヨシノ330本を見物。夜のライトアップも見どころです。

木曽川堤

見ごろ：3月下旬～4月上旬

交通：「138タワーパーク」バス停から徒歩3分

4km続く多種の桜750本が見どころ。ツインアーチ138からの展望もおすすめです。

浅井山公園

見ごろ：3月下旬～4月上旬

交通：「西浅井」バス停から徒歩3分

桜100本が見どころ。近くの漢学塾・有隣舎跡にも立ち寄れます。

尾西緑道

見ごろ：3月下旬～4月上旬

交通：「小信中島」バス停から徒歩10分

ソメイヨシノ230本と緑道が見どころ。近くの起宿に立ち寄ることもできます。

萬葉公園

見ごろ：3月中旬～3月下旬

交通：名鉄尾西線「萩原駅」から徒歩10分

伊豆の河津桜で有名なカワズザクラ20本が見どころ。近くの萩原宿の散策もできます。

青木川河畔

見ごろ：3月上旬～4月上旬

交通：「元小山」バス停から徒歩20分

ソメイヨシノ200本が見どころ。青木川に沿って1.5kmの散策が楽しめます。

新入会員ご紹介

～ご入会ありがとうございました～

事業所名	所属部会名
(株) マルチブレイン	土木建設
(株) E-STREAM	物流・情報
(有) フジイロジスティックス	物流・情報
一木通信	土木建設
(同) ニシオ製作所	商業
大山経営センター	文化・サービス
こむぎ君のキッチン	文化・サービス
Spirits	文化・サービス

※平成29年1月1日～31日の新入会分。新入会員のうち、名簿の公表を希望しない事業所は掲載しておりません。

所報・第六三三号(平成二九年四月十日号)
印刷・西濃印刷株式会社

発行・一宮商工会議所(一宮市栄四丁目六番八号)
定価二〇〇円(消費税込み)※会員の購読料は会費に含まれています

編集発行人・中神 優

税理士法人大樹 広告